

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- 「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- 「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- 各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

日本語教育専攻プログラム

履修のしかた

- メジャー／マイナーともに必修科目は「日本語教育学A」「日本語教育学B」「日本語教授法」です。メジャーはそれに加えて「日本語教育実習」が必修です。
- 「日本語教員養成課程」の修了証明書取得のための修了要件は、日本語教育メジャー・マイナーの修了要件と異なります。履修ガイドを必ず確認してください。
- 1年次春学期に「日本語教育学A」（時間割によって2年次春学期でもかまいません）、1年次秋学期に「日本語教育学B」、2年次春学期に「日本語教授法」を履修すると学びやすいでしょう。
- 「日本語教授法」は、「日本語教育実習」の先修条件として指定されています。それ以外は、比較的自由に履修することができますが、「日本語の評価法」や「カリキュラムデザイン」は、必修科目を履修した後（3年次以降に）履修したほうが段階的かつ効果的に学べます。
- 「日本語教育実習」は、抽選科目です。2年次春に「日本語教授法」を履修した学生は、できるだけ早い段階（3年次春）から「日本語教育実習」の履修を計画しましょう。
- 他言語、他文化に関する科目も積極的に履修してください。

他の専攻プログラムとの関係

- 難民支援や外国につながる子どもの日本語学習支援に関心がある人は、国際協力と日本語教育をダブルメジャー、または、メジャー・マイナーでかけ合わせて学ぶと良いでしょう。
- 日本語を母語としない児童・生徒の数は年々増加し、小中高校の学校現場でも、日本語教育の重要性が高まっています。国語教員を目指す学生の皆さんには、日本語日本文学メジャー、日本語教育マイナー、英語教員を目指す学生の皆さんには、英語学英文学メジャー、日本語教育マイナーという履修方法もお勧めです。

学生へのメッセージ

- 国際化が進む現代社会において、自言語・自文化をしっかりと認識することは、他言語・他文化を学ぶことと同様にとても重要なことです。
- 日本語教育学は、日本に住む生活者としての外国人をはじめ、国籍にかかわらず、日本語でのコミュニケーションに助けが必要な人たちを支えるための学問です。
- 日本語教育専攻プログラムでは、日本語・日本文化・日本社会を「外側から」観察する視点を養い、みなさんが多文化共生社会で活躍していけるよう、様々な科目を通して学んでいきます。
- 海外の大学（タイやマレーシア）で日本語教育実習を行ったり、地域の日本語教室でサービスラーニングを行ったりするチャンスもあります。ぜひ色々チャレンジしてみてください。

日本語教育専攻プログラム

1 日本語教師志望者(メジャー)の履修モデル

将来、国内外で日本語教育や関連する仕事に携わりたい人を対象とする履修モデルです。

①日常生活で使っている日本語の文法、音声、意味、文字などの仕組みを意識化すると同時に、②日本語を外国語としてどう伝えるか(教授法、教材、評価の仕方、カリキュラムなど)の理論と実践を学び、③実際の学習者を対象に教壇実習を行って、授業の組み立て、学習者とのコミュニケーション、次の授業へのフィードバックを経験します。自己研修型の日本語教師に必要とされる知識と技能を修得していきます。

日本語教育専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
言語知識	○	JLS1050L	日本語の文字・表記	2	○	JPE2110L	日本語の表現	4	○	JPE3110L	日本語の文法	4		JPE4120L	日本語史	2
		LIN1440L	日本語の語彙・意味	4	○	LIN2440L	日本語の音声	2		CLS3115L	日中対照言語学	2				
		JPE1100L	ことばの比較	2		JPE2120L	言語と文化	4		LIN3410L	プラグマティクス	4				
						LIN2430L	談話分析	4								
教育・習得	◎	JPE1111L	日本語教育学A	2	○	JPE2130L	言語習得法	2	◎	JPE3240L	日本語教授法	4	○	JPE4140L	カリキュラムデザイン	2
	◎	JPE1112L	日本語教育学B	2	○	JPE2131L	日本語教育文法	2		JPE3451L	日本語教材開発	2				
										JPE3140L	年少者日本語教育	2				
										JPE3452L	マルチメディア日本語教育	2				
									◎	JPE3440L	日本語教育実習	4				
									○	JPE3241L	日本語の評価法	2				
スキル		JLS1481L	国語・漢字検定 I	2		JLS2421L	言語表現A	2	○	JPE3450L	言語データ分析	2				
		JLS1482L	国語・漢字検定 II	2		JLS2422L	言語表現B	2								
		JLS1660L	書写	2	○	COM2120L	対人コミュニケーション	4								
文化・共生		ANT1000L	文化人類学	4	○	JPE2470L	多言語交流演習	2		LIT3114L	現代文学の世界	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4								

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究 [4]
- ・卒業論文 [4]

日本語教育専攻プログラム

2 年少者対象日本語教師志望者(メジャー)の履修モデル

年少者の日本語教育に関わりたい人を対象として、必要な知識と技能を養うための履修モデルです。

①日本語の言葉の仕組みのみならず、日本語指導を必要とする子どもの言語・社会・文化的背景を学び、②年少者の学習および教育に固有の特徴を把握します。さらに、③日本語を第二言語として学ぶ子どもの教育に関わる理論と実践を通して学びを深めていきます。教職を目指す人にとって、日本語教育での学びは、社会の変化に対応できる付加価値となるでしょう。

日本語教育専攻プログラム科目

Level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
言語知識		JLS1050L	日本語の文字・表記	2	○	JPE2110L	日本語の表現	4	○	JPE3110L	日本語の文法	4		JPE4120L	日本語史	2
		LIN1440L	日本語の語彙・意味	4	○	LIN2440L	日本語の音声	2		CLS3115L	日中対照言語学	2				
	○	JPE1100L	ことばの比較	2		JPE2120L	言語と文化	4		LIN3410L	プラグマティクス	4				
						LIN2430L	談話分析	4								
教育・習得	◎	JPE1111L	日本語教育学A	2	○	JPE2130L	言語習得法	2	◎	JPE3240L	日本語教授法	4		JPE4140L	カリキュラムデザイン	2
	◎	JPE1112L	日本語教育学B	2	○	JPE2131L	日本語教育文法	2	○	JPE3451L	日本語教材開発	2				
									○	JPE3140L	年少者日本語教育	2				
									○	JPE3452L	マルチメディア日本語教育	2				
									◎	JPE3440L	日本語教育実習	4				
										JPE3241L	日本語の評価法	2				
スキル		JLS1481L	国語・漢字検定 I	2		JLS2421L	言語表現A	2		JPE3450L	言語データ分析	2				
		JLS1482L	国語・漢字検定 II	2		JLS2422L	言語表現B	2								
		JLS1660L	書写	2	○	COM2120L	対人コミュニケーション	4								
文化・共生		ANT1000L	文化人類学	4	○	JPE2470L	多言語交流演習	2		LIT3114L	現代文学の世界	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4								

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究[4]
- ・卒業論文[4]

日本語教育専攻プログラム

3 日本語を深く学びたい人(メジャー)の履修モデル

将来、日本語や日本語教育を専門に研究したい人を対象として、基礎となる知識と技能を修得するための履修モデルです。

①日常生活で使用している日本語の文法、音声、意味、文字などの仕組みを意識化し、②外国語としての日本語の伝え方(教授法など)を学んで、教壇実習を行います。③それらの過程から収集した、興味深い言語現象について調査・分析・考察し、あわせてデータ分析の手法も身につけます。

日本語教育専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
言語 知識		JLS1050L	日本語の文字・表記	2	○	JPE2110L	日本語の表現	4	○	JPE3110L	日本語の文法	4	○	JPE4120L	日本語史	2
	○	LIN1440L	日本語の語彙・意味	4	○	LIN2440L	日本語の音声	2		CLS3115L	日中対照言語学	2				
		JPE1100L	ことばの比較	2		JPE2120L	言語と文化	4		LIN3410L	プラグマティクス	4				
						LIN2430L	談話分析	4								
教育・ 習得	◎	JPE1111L	日本語教育学A	2	○	JPE2130L	言語習得法	2	◎	JPE3240L	日本語教授法	4		JPE4140L	カリキュラムデザイン	2
	◎	JPE1112L	日本語教育学B	2	○	JPE2131L	日本語教育文法	2		JPE3451L	日本語教材開発	2				
										JPE3140L	年少者日本語教育	2				
									○	JPE3452L	マルチメディア日本語教育	2				
									◎	JPE3440L	日本語教育実習	4				
スキル		JLS1481L	国語・漢字検定 I	2	○	JLS2421L	言語表現A	2	○	JPE3450L	言語データ分析	2				
		JLS1482L	国語・漢字検定 II	2		JLS2422L	言語表現B	2								
		JLS1660L	書写	2		COM2120L	対人コミュニケーション	4								
文化・ 共生		ANT1000L	文化人類学	4	○	JPE2470L	多言語交流演習	2		LIT3114L	現代文学の世界	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4								

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究 [4]
- ・卒業論文 [4]

日本語教育専攻プログラム

4 国際化社会の相互理解(マイナー)の履修モデル

異言語や異文化に触れる機会が増えている現在、自国と他国の言語・文化を理解して多文化社会で共生する力を、日本語・日本語教育を通して養うための履修モデルです。

相互理解のベースである「ことば」を中心に、①自文化と他文化との異同を知り、②日本語を外国語として伝える際の理論と実践を修得します。さまざまな専攻プログラムをメジャーとする人に日本語教育をマイナーで専攻することを勧めます。

日本語教育専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
言語 知識		JLS1050L	日本語の文字・表記	2		JPE2110L	日本語の表現	4		JPE3110L	日本語の文法	4		JPE4120L	日本語史	2
		LIN1440L	日本語の語彙・意味	4		LIN2440L	日本語の音声	2	○	CLS3115L	日中対照言語学	2				
	○	JPE1100L	ことばの比較	2		JPE2120L	言語と文化	4	○	LIN3410L	プラグマティクス	4				
						LIN2430L	談話分析	4								
教育・ 習得	◎	JPE1111L	日本語教育学A	2	○	JPE2130L	言語習得法	2	◎	JPE3240L	日本語教授法	4		JPE4140L	カリキュラムデザイン	2
	◎	JPE1112L	日本語教育学B	2		JPE2131L	日本語教育文法	2	○	JPE3451L	日本語教材開発	2				
										JPE3140L	年少者日本語教育	2				
										JPE3452L	マルチメディア日本語教育	2				
										JPE3440L	日本語教育実習	4				
										JPE3241L	日本語の評価法	2				
スキル		JLS1481L	国語・漢字検定 I	2		JLS2421L	言語表現A	2		JPE3450L	言語データ分析	2				
		JLS1482L	国語・漢字検定 II	2		JLS2422L	言語表現B	2								
		JLS1660L	書写	2	○	COM2120L	対人コミュニケーション	4								
										JPE364*L	海外教育実習	2~4				
文化・ 共生		ANT1000L	文化人類学	4	○	JPE2470L	多言語交流演習	2		LIT3114L	現代文学の世界	4				
					○	ANS2140L	韓国文化論	4								

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究 [4]
- ・卒業論文 [4]